

当事者である児童からの意見聴取

1 目的

社会的養育推進計画を策定するにあたり、当事者である児童(社会的養護経験者を含む)の意見を反映する方法として、中学生以上の児童養護施設、ファミリーホームで生活している児童や里親から自立した方に対してヒアリングを実施。

2 対象

- ①児童養護施設(8カ所)に入所する小学校高学年以上の児童(各施設約10人～25人)
- ②里親に委託措置されている小学校高学年以上の児童(約60人)
- ③令和6年9月1日現在で一時保護中の小学校高学年以上の児童
- ④自立援助ホームに入所する児童(10～20人)
- ⑤社会的養護経験者

合計約200名にアンケート

3 ヒアリング項目

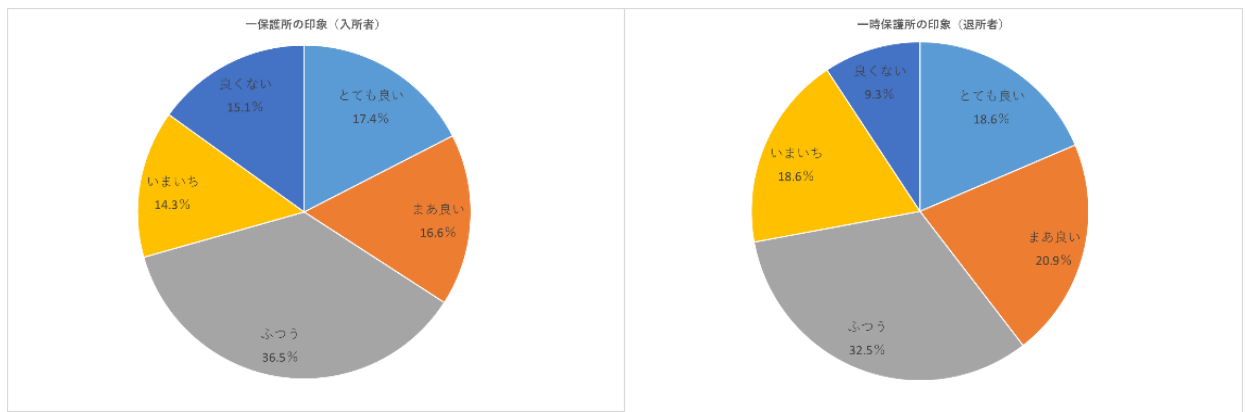
計画策定に関係すると考えられる、「生活環境」、「権利擁護」、「里親制度」、「自立」等についての以下の項目。

4 結果

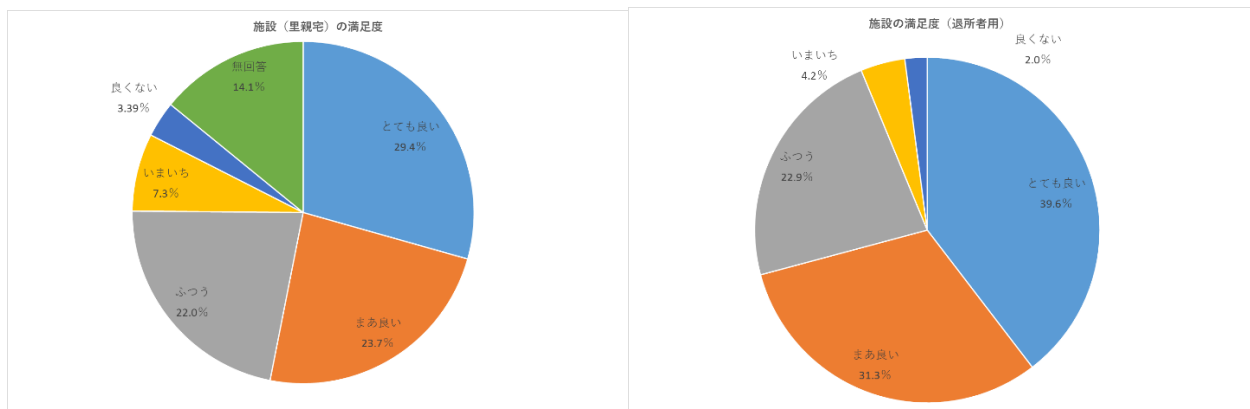
委託措置児童等178人 社会的養護経験者49人から回答があった。

各項目の主なものの要旨は以下のとおり。

(1)「環境」について



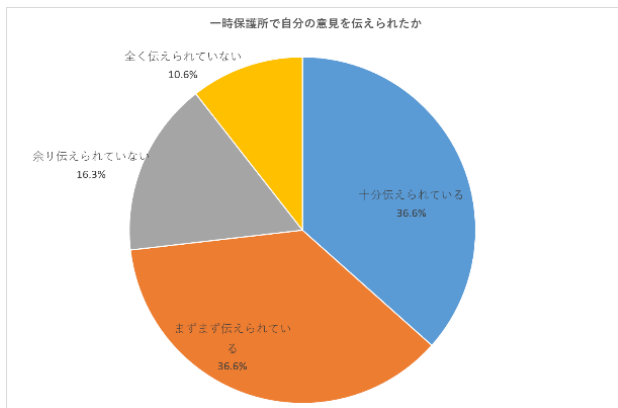
一時保護所の印象について現在措置中の児童の内「とても良い」「まあ良い」と答えた児童の割合は34.0%、「いまいち」「良くない」と答えた児童は29.4%でした。一方退所者は「とても良い」「まあ良い」と答えた児童の割合は39.5%、「いまいち」「良くない」と答えた児童は27.9%でした。一時保護所で不満に思う点などは「入浴時間が短い」「スマホが使えない」「勉強の時間が長い」「もっと家庭の雰囲気にならなりたい」などが挙げられていました。



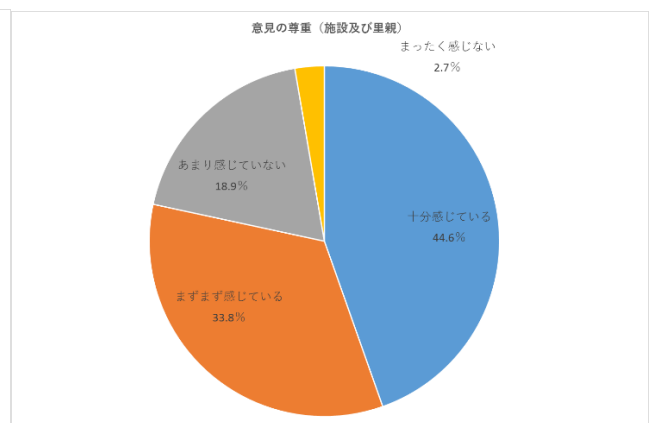
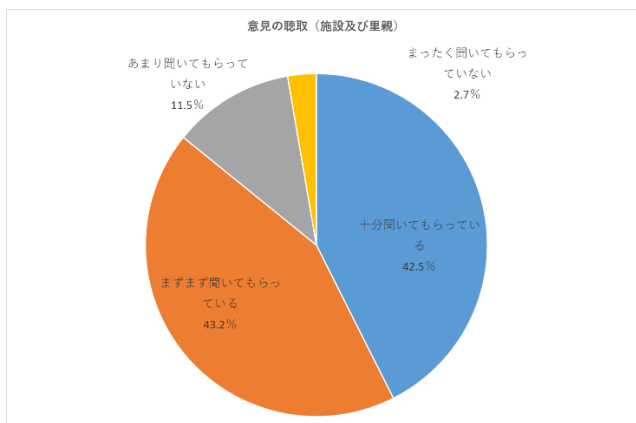
施設及び里親宅の満足度については、現在措置中の児童の53.1%が「とても良い」「まあ良い」と概ね満足しているのに対して、約10.7%の児童が「いまいち」「良くない」と不満を示しています。

一方退所者は、70.9%の児童が概ね満足しているようでした。

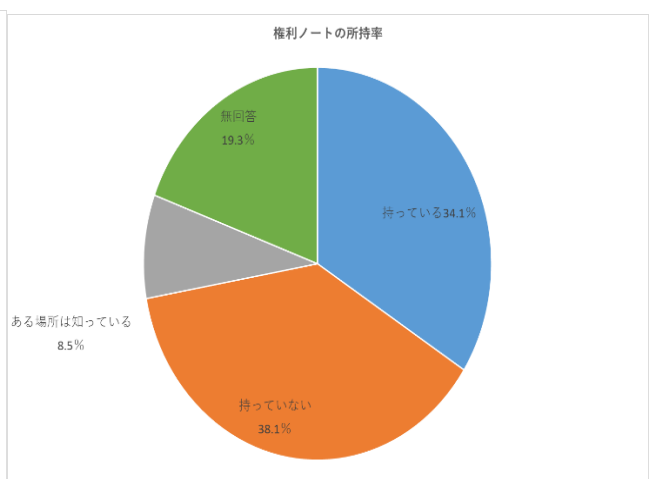
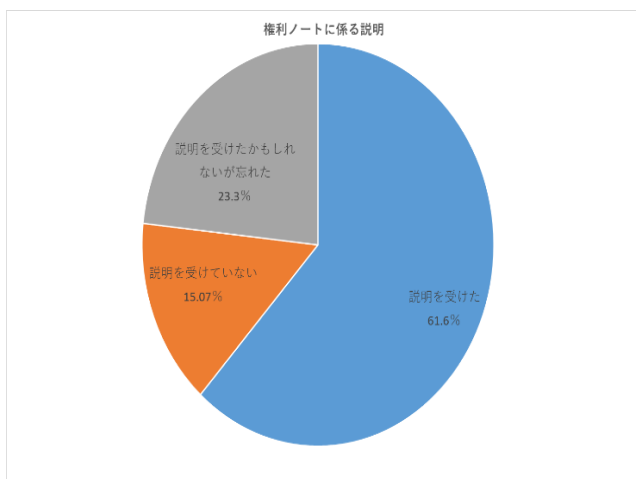
(2)「権利擁護」について



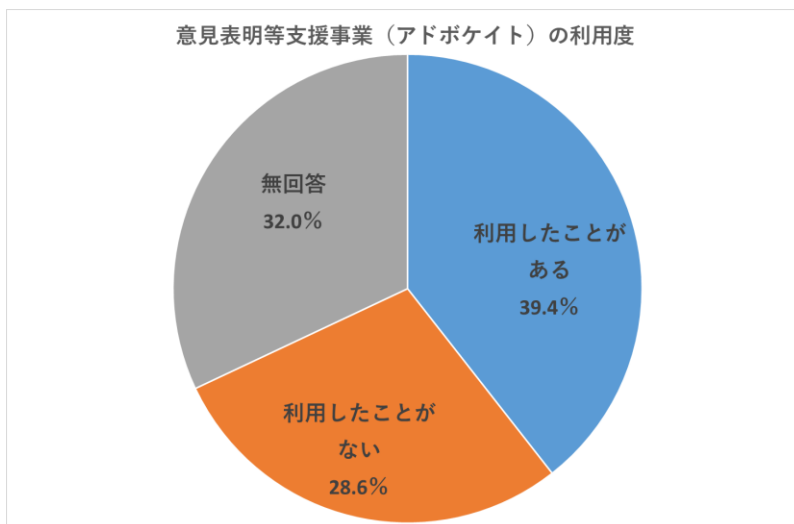
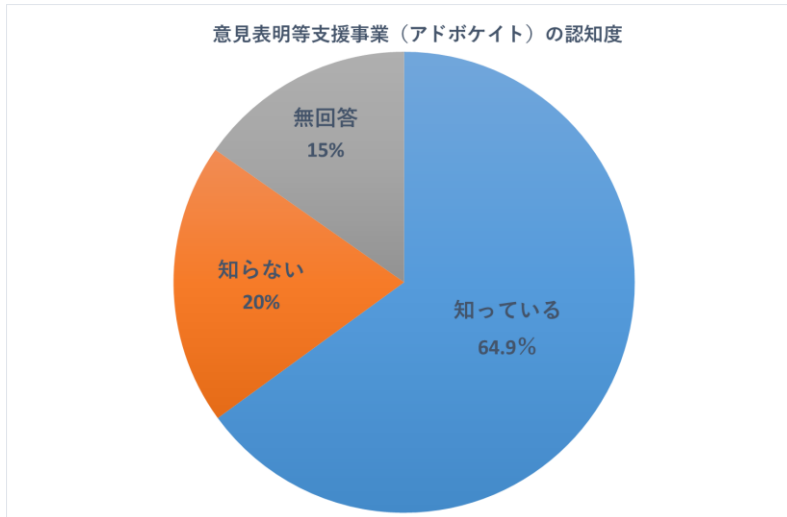
一時保護所において自分の意見を伝えられたかについて、73.2%が「十分伝えられている」「まずまず伝えられている」と回答しています。



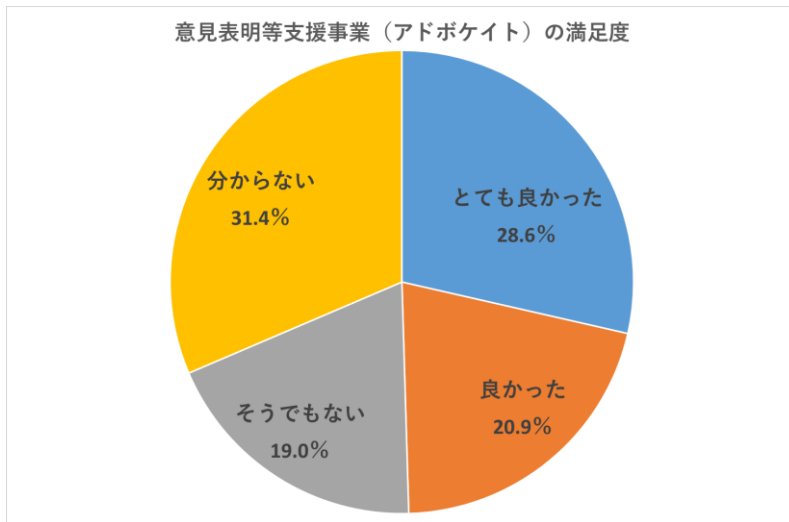
また、施設及び里親宅においては85.7%の児童が意見を「十分聞いてもらっている」「まずまず聞いてもらっている」、78.4%の児童が、自分の意見を尊重してもらっていると「十分感じている」「まずまず感じている」ことが分かります。



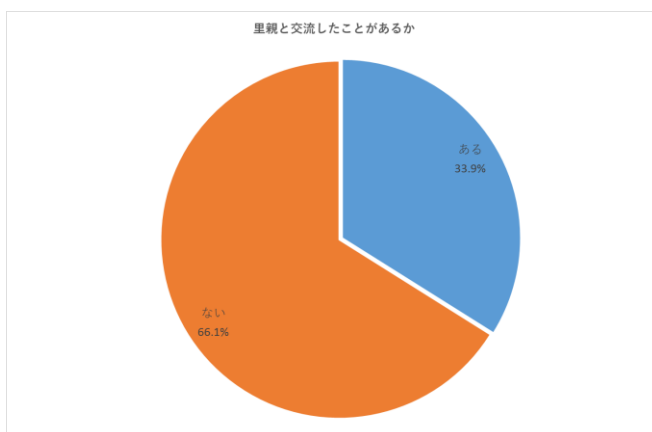
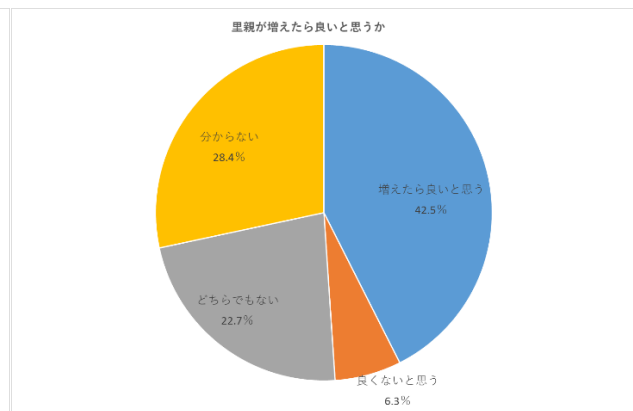
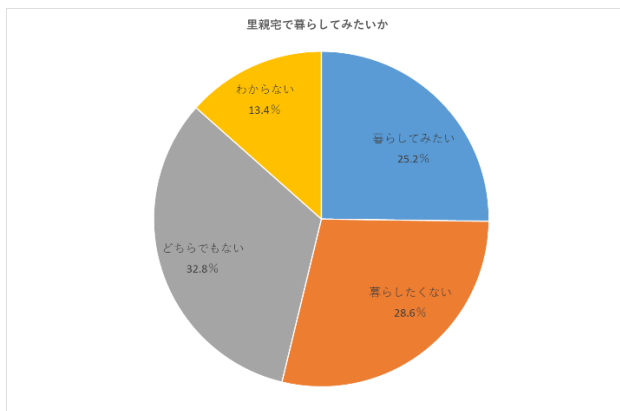
一方で、県で作成し配布しているこどもの権利ノートについて「説明を受けたことがある」と答えた児童は61.6%であるのに対して、こどもの権利ノートを持っているかとの問いには「持っている」と答えた児童は34.1%に止まっています。



和歌山県が他府県に先駆けて令和3年度から導入した意見等表明支援事業(アドボケイト事業)の認知度は、64.9%となっています。一方で利用したことのある児童は39.4%に止まっていますが、利用した児童の49.5%が利用して良かったと考えています。



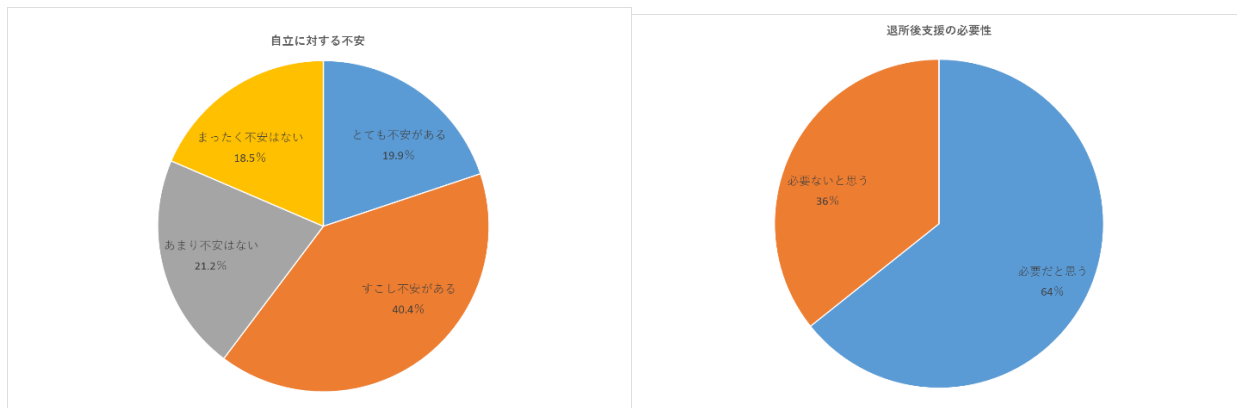
(3)「里親等」について



里親については里親制度について6割程度の児童が知っていると答え、里親宅で暮らしてみたいかの問いには25.2%の措置児童が暮らしてみたいと回答しました。里親と交流したことがあるかとの問

いには33.9%の児童があると答えましたが、「小さい頃の話なので内容を覚えていない」など、内容についてはわからないと言う回答が多くありました。

(4)「自立」について



入所児童に自立に対して不安はあるかと尋ねたところ60.3%の児童が「とても不安がある」「すこし不安がある」と回答し、退所後支援の必要性には64%の児童が「必要だと思う」と回答しました。具体的には「ひとり暮らしに向け金銭的な支援が必要」などが多く「不安なとき相談して欲しい」など、「人の関わり方」や「生活の仕方」に対する支援が必要との意見もありました。

また、退所者に自立に向け、どのような支援を受けられれば良かったと思うかと質問すると「バイトで貯めていたお金を施設で管理してくれていたのですが、社会人になりすぐに使ってしまう無くなりました、そこから貯金できていません」「金銭面ではかなり苦労した」や「お金の使い方」などやはり仕事も含めた金銭面で苦労していることが窺われました。

(5)その他

「今の楽しみはどんなことですか」の質問にはスマホ、部活、ゲームなどの回答が多く、「現在、できないことや困ったことはありますか」の質問にも「スマホを持ちたい」や「門限が困る」などの回答が多くありましたが、勉強が進まないことや学校になかなか行けないことに悩んでいる児童もいました。